

企業現場担当者に役立つ 知財デューディリジェンスの基礎知識

近年「デューディリジェンス（DD）」は金融機関だけが行うものではなく、また企業買収のような特殊な状況だけでなく、事業提携や共同開発など日常的に行われることが増えてきています。評価にあたって知的財産部門が関わるケースも増えており、知的財産部員としても基礎的な事項についての理解が求められつつあります。

そこで本講座では、主として企業にて知的財産活動に携わっている方を対象に、様々なデューディリジェンスにおいて、知的財産部門がどのような情報を提供すれば良いかについての理解をめざし、価値評価の目的や手法、また知的財産がどのように関わるかを解説いたします。また一般的にきわめて短い期間で行われるデューディリジェンスに対応できるよう、「平時の備え」として知的財産部がどのような情報収集・整理を行っておくのが好ましいかについて、演習を通じて理解することを目標とします。

多数の皆様のご受講をお待ちしております。

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【開催日】 平成30年2月23日（金）10:00～17:00

【開催場所】 大阪大学中之島センター 7階講義室702

大阪市北区中之島 4-3-53 06-6444-2100

【講師】 三好 陽介 氏

（ランドン IP 合同会社 ヴァイスプレジデント）

【定員】 20名（定員になり次第締め切ります。）

【参加料】 会員13,500円（一般21,000円）（テキスト代、消費税8%込）

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

⑨ (1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3) 他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

【プログラム（案）】

1. 「知財DD」の必要性

1-1. そもそも Due Diligence とは何か？

1-2. 企業価値と株主価値

1-3. 企業価値の評価手法

2. 「知財DD」の目的と必要な情報
 - 2-1. 企業価値評価に知的財産はどう影響するか
 - 2-2. 将来CFへの寄与
 - 2-3. シナジーによるプレミアム
 - 2-4. 「知財リスク」の繰り込み
3. 公開情報で仮説を立て、非公開情報で確度を上げる
事前に判ることとNDA締結後に確認すべきこと
4. 演習～ベンチャー企業の買収可否検討～
特許マップによる候補企業の選定と評価項目の検討
5. まとめ

-----切り取り線-----

大阪発明協会 企画サービスグループ行き		FAX 06-6479-3930	
初級～中級向け 知的財産セミナー 申込書			
2018年2月23日開催 「企業現場担当者に役立つ知財データベースの基礎知識」			
申込日 平成 年 月 日			
会社名 又は氏名		部署名及び 連絡担当者	
ご住所 〒			
TEL		FAX	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
※お申し込み者宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当協会へお申し付けください。 ※許可なくして講義内容を録音することを固く禁じます。			

お支払方法 (予納金・現金・銀行振込・郵便振替)

1. 請求書 (要 不要)

振込先銀行 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182
 三菱東京UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472
 郵便振替口座 00940-7-312572

2. 予納金処理の方 得意先コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会員・非会員の区別(法人会員・個人会員 発明協会・一般)